

はぐはぐ Cafe 通信

子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

Vol.21

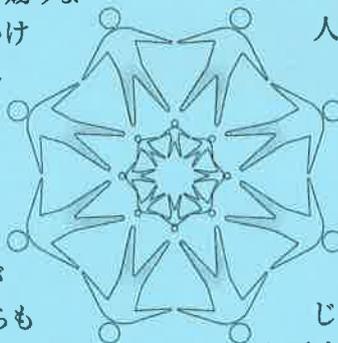
2023年7月14日発行
<http://hagu-hagu.com>

発行者/NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ事務局 〒920-0955 石川県金沢市土清水2丁目396番 TEL 070-6559-9557 FAX 076-229-3713

「そのままでいいよ! そのままこども食堂からのご報告」

いつも皆様には、はぐはぐのご支援を賜りましてありがとうございます。温かいお声かけやお志にスタッフ一同心より感謝いたしております。

先日、最新の統計が発表され、日本の出生率が、2005年に並んで過去最低だった昨年よりさらに減少したことがわかりました。出生率の減少に歯止めがかかりません。実際に周りの若者達からも「将来が不安だから、子どもをつくる気になれない」との声が聞こえてきます。顕著なAIの発展により、



人とのコミュニケーションが苦手だからとAIロボットを恋人と見立てて一緒に暮らす若者も出てきたとか…。これでは少子化を食い止めるのはなかなか困難かもしれませんが、政府が示した「次元の異なる少子化対策」に希望を持ちたいと思います。そのような社会環境の中、私たちは、この半年も変わらず子育て支援の現場で、困難を抱える親ごさんやお子さんたちを見守り、時にじっくり話をお聞きし、時にはお節介を發動しながら不安な気持ちに寄添ってきました。この会報を通して、ここにご報告させていただきます。

そのままこども食堂／はぐはぐ学習支援

「そのままこども食堂」「はぐはぐ学習支援」の近況です。

コロナ禍で始まったこども食堂ですが、コロナが5類になったことからマスクを外しても良いことになりました。食堂のテーブルの亚克力板も外し、毎回、ボランティアさんが手作りしてくれる美味しい料理をみんなでワイワイ食べられるようになりました。

困難な状況のご家庭を対象にしている事業ですが、子どもたちは、実に子どもらしく、泣いたり笑ったり喧嘩したりと、どの子も伸び伸び過ごしています。信じられないことに、勉強が苦手な子どもが、もうやめようと言われるまで集中して勉強していることもあります。小さな子どもたちも勉強し始め、勉強スペースが足りなくなることもあります。とはいえ、最後はお決まりの大騒ぎの鬼ごっこやかくれんぼで盛り上がり、その後お待ちかねのデザートを食べ、どの子も満足顔で「また来るねー」と言って帰っていきます。

また、ある事情で大学にいけないと言っていた中学生が、大学生ボランティアに刺激を受けたのか、熱心に勉強するようになり、成績が大幅に上がりました。志望校のランクを上げると意欲を見せています。プレッシャーをかけないよう、みんなで彼女のチャレンジを応援して見守っていきたいと思います。他にも気力が無くなり不登校になった男の子が、イキイキと遊んだり勉強するようになったり、毎回、小さな物語がぼこぼこ生みだされています。

「そのままこども食堂」では、「子どもをありのまま受けとめてあげよう」を合い言葉に、スタッフみんなで、来て下さる親子が安心して過ごせるよう心がけています。はぐはぐは、これまでいろいろな場面で、子どもや親ごさんの支援をして参りました。このこども食堂を通して、いつも曇らない目で子どもたちをじっくり観て、じっくり寄添っていきたいと思います。

そのままこども食堂

日時: 第2, 第4金曜日(支援家庭優先) 17時~20時30分
料金: 大人300円、子ども無料 *支援家庭は大人も無料
場所: ランプアコティ



はぐはぐ学習支援

日時: 第2, 第4金曜日(支援家庭優先) 17時~20時30分
対象: 小学生、中学生
料金: 無料 場所: ランプアコティ



困窮する子育て家庭への食料支援

～親子に寄り添う訪問型支援～ 《金沢市助成事業》



月1～2回程度、困窮家庭へ食料を携えて訪問する見守り支援をしています。食料の提供を通して親子に寄り添い、社会からの孤立を防ぐことを目的としています。スタッフが定期的に食料を届けることで、丁寧に時間をかけながら親ごさんとの信頼関係を築くことができ、困り事などの相談をしてくれるようになります。依頼のあった機関にはスタッフから定期的に現状を報告し、何かの事案がある際は速やかに連絡しています。現在、金沢市児童家庭相談室や児童相談所、社会福祉協議会、またその他関係機関からも紹介や依頼を受けて訪問支援をしています。

物価の上昇が止まらず、電気代も大幅に上がることから、貧困家庭の状況は今まで以上に大変厳しくなっています。子どものために自分の食事の回数を



減らす親御さんもいます。非正規労働者が多いためか、賃金はあまり変わっていないので生活は以前以上に厳しく、また病気でまだ仕事ができない状況の親ごさんもいらっしゃるの、私たちが心して支援をしなくてはと思っています。まずは生活を安定させることが一番大切です。生活状況次第では、子どもが不安定になり問題行動を起こしたり、将来をあきらめ無気力になってしまうケースもあります。親ごさんの自立支援、お子さんの見守りを関係機関と連携して続けていきたいと思ひます。

この事業は、皆様から贈られるお米などの食料品、日用品、またご寄付などが大きな支えになっております。今後もさらなるご協力をいただきますと大変助かります。どうぞ宜しくお願いいたします。

●訪問回数 423回/年 ●支援延べ児童数 739人/年 (いずれも令和4年度実績)

拠点型子ども宅食モデル事業

令和4年度夏より、金沢市が主催し、社会福祉協議会が運営する「拠点型子ども宅食モデル事業」が始まり、これまでに5回実施しています。金沢の特徴である地域コミュニティ力を活かし、市内を概ね8ブロックに分け、それぞれに拠点を開設し、社会福祉団体と連携し地域から子どもの生活を支援する取り組みです。食料提供を通して、支援が届きにくい家庭に必要な支援につなげる仕組みの構築を目指しており、はぐはぐもスタッフとして協力しています。対象は児童扶養手当を受給している世帯で拠点(公民館など)に食料を取りにきてもらう際にスタッフから声かけをし、地域での見守り体制や必要な支援に繋がっています。特に厳しい困窮家庭は、はぐはぐの「訪問型見守り支援」にも繋がっていきます。

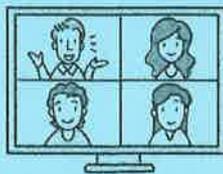
働くママの支援事業

育休からの職場復帰・再就職支援セミナー 《石川県委託事業》



このセミナーは、仕事と育児の両立のコツと家庭や職場でのコミュニケーションの取り方を学び不安を解消し、スムーズな職場復帰・再就職につなげることを目的として開催しています。オンライン会議Zoomシステムを使用し、春コースは3回シリーズで実施しました(令和5年2/8、2/15、2/22)。

2回目で行うパネルディスカッションは毎回好評で、パネリストの皆さんの肩肘はらないお話が参加者の皆さんの共感を呼び、熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。



参加者は、コロナ禍で孤独な出産や育児を経験したママも多いのですが、このセミナーを通して、復帰に向けた不安な気持ちに少し寄り添うことができたのではないかとと思ひます。また子どもを預ける手段や場所、病児保育などの働く母親に必要な育児情報が意外と知られていませんでした。それはコロナ禍で母親同士が交流する機会に恵まれなかったことも一因のようです。参加者の一人からは「このセミナーの資料をバイブルにこれから行動したい」と嬉しい言葉もいただきました。

パパちからアップセミナー「これからパパになる、パパをたのしむために」 《石川県委託事業》

パパたちに父親の心構えや育休制度、また産前産後の女性の心や身体の変化や、新生児の育児、またママとのコミュニケーションなどを学んでもらい、夫婦で共に子育てを楽しんでいただくための「パパちからアップセミナー」を令和4年度から開催しています。はぐはぐスタッフの助産師、社会福祉労務士、子育て支援の3名の専門家がプレパパ、パパを対象にお話しています。

今年度第3回(2/25実施)は、オンラインのみのセミナーでした。寒い日でしたが、自宅から気軽に参加できるので予想以上に多くの参加がありました。今回はグループでの質疑応答になってもほとんどの参加者がビデオオフで、講師側から個別に問いかけないと質問もあまり出ませんでした。アンケートには「大変参考になった」という意見が大半で、満足していただけた

ようでした。

3回を通して特に感じたことは、プレパパも新米パパも、ママをサポートしたい気持ちに溢れていたことです。参加者の多くが育休取得を予定、また取得したいと考えており、時代は確実に変わってきていることを感じました。しかし実際には、男性の育休取得に対して理解が不十分な職場もまだ多いようです。早急に企業側の理解が進んでいくことを切実に願っています。

ママたちから促され、淡々セミナーに参加されたパパもいたかもしれませんが、セミナーの内容が思っていた以上にためになっていることが、アンケートの回答からも伺えました。



【第60回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》 令和5年1月19日(木) 10:30～12:00 場所:いしかわ子ども交流センター

テーマ「お母さんの人生を豊かにするマイカップ運動」～お母さんの心の充電を増やすことの大切さ～ ❖参加人数 親子6組12名
講師 多賀千之さん(小児科医)

小児科医としてたくさんの家族を見てきた多賀先生から、お母さん自身のためだけに時間を
使うことの大切さをお話いただきました。

「ママが自分の時間を自分のために使うことが、家族へのギフトになります！」などの多賀先生
の言葉にお母さんたちはもちろんのこと、スタッフからの頷ぎが多かったことに先生は驚かれて
いました。「パパにはありがとうをいっぱい言いましょ。言葉はただですよ(笑)」のお父さん
操縦術を伝授いただき、皆さんお土産を胸に笑顔で帰っていかれました。



【第61回】はぐはぐ子育て塾《金沢市委託事業》 令和5年3月19日(日) 10:30～12:00 場所:いしかわ子ども交流センター

テーマ「子どもの自己肯定感」～こどもの自己肯定感に必要な愛着形成の大切さ～ ❖参加人数 親子12組36名
講師 原田克日さん(金沢大学人間社会学域学校教育系 准教授心理学者・スクールカウンセラー)

日曜日でもあり、家族全員で参加する方、子どもを預けてお一人で参加する方、たくさんの方
に参加いただき、テーマへの関心の高さが窺えました。原田先生からは資料に基づき、学術的
なことをわかりやすく優しく話していただきました。先生から「私も子育てに失敗したなと思
うことはあります」という言葉が出た時には、子育てに悩むのは自分だけではないとお母さん方
は安心した様子でした。良い雰囲気作りのキーワード、「安心感、安全感、安定感」を心に刻み
日々の子育てを楽しんでほしいと思います。



はぐCafeレポート

(金沢市委託事業)



ママたちはどうしているのかしらとスタッフはいつも心を寄せています。



今期は、2022年12月、2023年2月・4月・6月に「はぐカフェ」を開催しました。

冬場はいしかわ子ども交流センター、春からはKotilにての「はぐカフェ」。

集まった子育て中のお母さんや子育てのちょっと先輩なスタッフとお喋りする中で、子育ての情報交換をしたり悩みを共有する中で、癒やされたり自分の子育てへのヒントを得られるのが「はぐカフェ」です。

先日の「はぐカフェ」では、兄弟間のトラブルに悩むママさんが、同年代のお子さんを持つお母さんや先輩ママさんやスタッフと話し、「悩んでるのは自分だけじゃないんだ」と安心できたようです。そのママさんは転勤族で近くに実家がなく、「このKotilの雰囲気だけで、実家に帰った気持ちになって癒やされました」と帰り際に話されていたのが印象的でした。

コロナで、ここ3年くらいは飲食無しでしたが、これからは温かい飲み物や季節の手作りの飲み物や食べ物でママたちをお迎える「はぐカフェ」でありたいな、と思っています。



金沢ペアレンティング研究会

昨年度開催したMOP(オーダーメイド・ペアレンティング)初級トレーナー研修および中級トレーナー研修を修了された方を中心に継続研修会が実施されています。参加者のみなさんは積極的に日頃の子育て支援の実践の中で疑問に思ったことや困難さを感じていることについて参加者同士でスーパーバイズし相互に専門性を高め合っています。

7月からは第二回継続研修会が開催される予定であり、すでに参加申し込みが行われています。



オーダーメイド・ペアレンティング研修会 今後の予定

MOP初級トレーナー養成研修 9/9(土)、9/10(日)

*初級では必要な相談の基礎知識およびMOPの基本のセッションについて学びます。

MOP中級トレーナー養成研修 11/18(土)、11/19(日)

*中級では子どもの問題行動の相談へのMOPの応用について学びます。

MOPスキルアップ研修会 10/21(土)、10/22(日)

*発達特性を持って子どもに対するMOPの応用について学びます。

MOP継続研修会 令和5年7月より月一回開催

*初級トレーナーおよび中級トレーナー、あるいは以前にオーダーメイド・ペアレンティングの研修会に参加した方が受講できる研修会です。

詳細は金沢ペアレンティング研究会 <http://kanapareken.wp.xdomain.jp/> でご確認ください。

児童養護施設の子どもたちへの学習ボランティア



昨年10月から聖霊愛児園で、小学1年生(3人)の学習ボランティアを再開しました。この4月からは新1年生(4人)も参加しています。それぞれ個性的な子どもたちで、同時に7人の勉強をみることは難しいですが、宿題を中心にこのボランティアを続けています。中学3年生は継続的に、また高校生2人は定期試験前に指導しています。

6月からは小学生の英語教室をアメリカ人ALTのサポートを受けて始めました。継続的に質の高いレッスンを提供したいと思います。

子どもたちの夢を叶えるドリカムプロジェクトも今年度から再開する予定です。また子どもたちの弾けるような笑顔を見ることができそうです。

少年院でのセミナー

ここ数年、少年院(湖南学院様)で「親教育」と「コミュニケーション」のセミナーをさせていただいております。少年院と聞くと特別な感情を抱かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、至って普通の少年たちで、毎回とても素直に私たちの話に耳を傾けてくれます。3/2(木)には、金沢学院大学の公認心理師である前川教授と一緒に「大切な人とつながるための自分の気持ちの伝え方」をテーマに、ワークショップを取り入れたセミナーを実施しました。また、6/14(水)「親教育」のセミナーでは、はぐはぐスタッフの助産師と、「将来パパになったときに知ってほ

しい7つのルール」と題して、女性の妊娠から出産、育児、そしてママとのコミュニケーションについて学んでいただきました。いつの日かパパになったときにイメージが持てるように実技してもらい、照れながらも妊婦エプロンを着けて実際の妊婦さんのお腹の重さを体験したり、赤ちゃんの人形を抱っこする様子が見られました。院生からは、「自分たちが生まれたことは奇跡なんだと思った」「新しい命やパートナーを大切にしていきたい」などの感想がありました。



- ・ Vol.20会報発行 (1月)
- ・ はぐはぐ定例会 (1月~6月まで計3回)
- ・ 金沢市見守り支援について内閣府ヒアリング (1/13)
- ・ 金沢市家庭教育ハンドブック制作会議 (1/23)
- ・ 金沢市拠点型子ども宅食モデル事業への参加 (2/26)
- ・ 金沢市子どもを育む行動推進委員会 (2/28)
- ・ 子育て支援財団主催 子育てフォーラムパネラー参加 (3/5)
- ・ 金沢子ども見守りネットワーク会議 出席 (3/9)
- ・ はぐはぐ理事会 (3/13, 5/20)
- ・ 金沢市女性センター主催「育休セミナー」講演 (6/7)

- ・ 金沢市子ども政策審議会 出席 (6/9)
- ・ フードバンク、食品調達、野菜の買い付け等 (通年)
- ・ 聖霊病院 評議委員会 出席

◎通常総会のご報告

はぐはぐ令和5年度通常総会を5月20日(土)金沢市富樫教育プラザで開催いたしました。令和4年度の事業報告、令和5年度事業計画などをご審議いただき承認いただきましたことをご報告させていただきます。今年度役員変更は、理事佐々木しのぶが退任し、従二京子が新たに理事に就任いたしました。

はぐはぐ活動スケジュール(令和5年6月~令和5年12月まで)

- はぐはぐ子育てサロン(はぐカフェ・子育て塾) 毎月第1水曜日
- 愛児園学習ボランティア(毎週火曜日)

日程	活動内容	場所
7/5, 8/2* 10/4, 11/1	ママの居場所 はぐカフェ ◇参加費200円(お菓子飲物付) *金沢市委託事業	ランブアコティ(はぐはぐの家) ※8/2 いしかわ子ども交流センター
9月6日(水) 10:30~12:00	第62回子育て塾「パパママのための防災教室」 講師:防災士協会 ◇参加無料 *金沢市委託事業	いしかわ子ども交流センター
毎月【第2,第4】 木曜日	子育て相談	ランブアコティ(はぐはぐの家)
毎月【第2,第4】 金曜日	困窮家庭(子育て世帯)への宅食支援(訪問、フードドライブ) そのままこども食堂・学習支援 *金沢市子ども見守り支援助成事業	ランブアコティ(はぐはぐの家)
8月5日(土) 11月18日(土) 9:30~11:30	「パパちからアップセミナー」 講師:塚脇京子(助産師) 服部英明(社労士) 水島栄美子(コーディネータ) *石川県委託事業	8/5 オンライン 11/18 県立図書館
11/26(日)第1回 12/10(日)第2回	育休からの職場復帰・再就職支援セミナー(パパママ対象) 講師:水島栄美子 *石川県委託事業	いしかわクルーズターミナル
10/29(日)	正会員向けはぐはぐ研修会	

令和5年(2023年度) 寄付及びサポーター会員募集のお知らせ

はぐはぐは、ボランティアで成り立っている団体です。主な活動は皆様の寄付及び会費でまかなっております。

今年度からは、はぐはぐの家(ランブアコティ)の運営や困窮家庭への食料支援などがありますので、皆様のご支援がありますと本当に助かります。

はぐはぐの活動の趣旨にご賛同いただけるサポーター会員を募集しています。また随時ご寄付やお米、お菓子など食料の支援も受け承っております。温かいご支援を何卒よろしく願いたします。

- [会員の特典] ●会報の発行 ●はぐはぐ各種事業の参画
- [年会費] ●サポーター会員(個人).....1口 3,000円
- サポーター会員(法人、団体).....1口 10,000円

【サポーター会員会費・寄付振込先】
郵便局 口座番号 00790-9-76858
NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

*恐れ入りますが、お手料は本人のご負担でお願い致します。支援金は、親支援・子どもたちへの直接的な支援費用や会の運営費用等に充当させていただきます。

■お問い合わせ TEL 070-6559-9557 (はぐはぐ事務局)
Email: info@hagu-hagu.com

*いずれも詳しくは事務局 (070-6559-9557) までお問い合わせください。